



第15図 ダイナミックアブソーバの効果(第13図のaおよびbと比較)

ーバ ($\mu = m_a/m_2 \approx 1/4$ シトロエン車独特のもの) を付けた場合で第13図(b)と比較してかなり効果のあることが判る。また、筆者の一人の考案(特許出願中)のダイナミックアブソーバ及びショックアブソーバの効果

車種	D. A. 及び S. A. の有無	車輪の共振点における振幅 (mm)		
		振動台の振幅	車輪の振幅	車体の振幅 ⁺
シトロエン 2CV	D. A. 及び S. A. なし	2.5	25.5*	2.25
	$\mu \approx 1/4$ の D. A. 付き	2.5	9.5	0.50
トヨベツト 中型トラック [◎]	D. A. 及び S. A. なし	1.25	5.75	0.43
	$\mu \approx 1/2$ の D. A. 付き	1.25	4.0	0.3
トヨベツト SDF 乗用車	D. A. 及び S. A. なし	2.5	12.5	0.75
	S. A. 付き	2.5	5.5	0.625

D. A. ダイナミック, アブソーバ
 S. A. 普通の棒状ショックアブソーバ
 * ホイールホップの状態にあり
 + 車体の振幅測定箇所は催振中の車輪に近い箇所
 ○ 池田健特許出願中
 ◎ トヨベツトトラックのみ前輪を催振, 他は後輪を催振.

ナミックアブソーバ ($\mu = m_a/m_2 \approx 1/2$) をトヨベツトトラックに付けた場合を第15図の(b)に示す。第13図の(c)と比較してこの程度のダイナミックアブソーバでも大きな効果のあることが判る。次に普通の形式のショックアブソーバも第2次共振を緩和する作用のあることはもちろんであるが、第2次共振の山は減らすが、それを外れた部分の振動はかえって大きくなる傾向がある。第2表はダイナミックアブソーバ(D. A.)または普通のショックアブソーバ(S. A.)の各車についての効果を示したものである。

6 む す び

われわれの実験装置によって今後も各種の自動車の実験を行う予定であるが、本文は僅か4種の車について行った実験の1部分だけを紹介したに過ぎない。今後の研究の進展に伴って上記に述べた一般結論として述べたことも多少の訂正を要するに至るかも知れないが、このような実験的解析法が乗心地改善の極めて有効な手段であることは違いないと信ずる。

本研究の大部分は株式会社岡村製作所の依頼研究費によって行われ、一部分は科研費および校費をもって行われた。実験には筆者等の外に富田文治君、藤城清治君、千葉工大学生柴原吉彦君、神洋介君等も協力している。また、住江製作所、本所平尾、互理研究室には実験車を貸与された。特に平尾教授、互理助教授および大和田助教授はこの研究に助言を与えられた。本稿を終るに際し関係各位に感謝の意を表する。(1955.1.20)

文 献

- 1) 松平精, 松井哲; 機械学会誌, Vol.55, No.403, 1952/8.
- 2) 高橋安人, 平尾収, 互理厚; 生産研究, Vol. 6, No.8, 1954/8.
- 3) R, N, Janeway, S. A. E., J, 1948/8
- 4) 植村益次; トヨタ技術, 第6巻, 第8号, 昭28/8.
- 5) 高橋安人; Roc. of 3rd Nat. Cong. for Ap. Mech.

次号予告 (3月号)

巻頭言	退官にあたって.....	友田 宜孝
研究解説	電量滴定法と連続分析法.....	高橋 武雄 仁木 栄次
	イオン交換装置について.....	山本 寛
	土質力学的にみた河川堤防破壊の問題点.....	三木 五三郎
研究速報	ゲルマニウム蒸着膜の電気伝導度について.....	中田 一郎
	位相検波器を用いたコンダクタンスの測定法.....	根岸 勝雄
	パイプの曲げ加工に伴う残留応力.....	日比野 文雄
	ニトロベンゼンの合成および重合.....	浅原 照三 三好 淑子
	アントラセン分子における塩素原子の安定性.....	白井 玲子 永井 芳男

正誤表 (1月号)

頁段	行	種別	正	誤
1	下12	本文	思う(1)に	思う。(1)に
"	4	"	したい。	したい,
3	左下5	"	r_a	r_i
13	"上22	"	diffusion distance	life time
22	"	(5)式	訂正 $G_1(r) = -(rF')/r,$ $G_2(r) = [r\{(rF')/r\}]/r.$ $G_m(r) = -(rG'_{m-1})/r,$ $G_0(r) = F(r), m=1, 2, (5)$	
"	"下22	本文	$\frac{\partial \varphi}{\partial z^2}$	$\frac{\partial \varphi}{\partial z_2}$
"	右下15	"	げよう	げる
23	左下11	"	半径を8 cm, そ	半径 8cm
"	"下9	"	隙を	そ隙